

建設イノベーション・コンソーシアム 設立について

設立趣旨

1. 個別発信の限界

- ・各建設会社は、自社の強みや事例に基づいて魅力を発信している（例：施工事例紹介、福利厚生、働き方）。
- ・しかし、自社アピールは出来るものの、『建設業全体』としての魅力が伝わりづらいのが課題。
- ・中小企業では広報・マーケティングリソースが限られ、発信力に差が出てしまう。

2. 業界団体の動き

- ・建設業協会や建青会、各発注者などが業界全体の魅力発信を試みているが、どうしても一般層へのリーチは限定的なものとなっているのが課題。
- ・若者向けコンテンツ（動画、SNS など）が少なく、トレンドに追いつくことが難しい印象も見受けられる。

3. 建設業の魅力発信を専門に行う“新媒体”を設立する

- ・北海道の建設業界全体を応援・PR する目的で、業界横断の広報や Web 活動等を行う組織を設立。
- ・スピード感を持った組織とするため、設立当初は必要最低限の団体で立ち上げることとする。なお、趣旨に賛同いただける団体の入会は随時受け付けるものとする。

新組織

建設イノベーション・コンソーシアム

Construction Innovation Consortium（略称：C I C）

【設立メンバー】

一般社団法人北海道建設業協会

一般社団法人北海道開発技術センター

一般財団法人北海道河川財団

北海道建設業信用保証株式会社

一般社団法人北海道舗装事業協会

一般財団法人北海道道路管理技術センター

一般財団法人北海道建設技術センター

北保証サービス株式会社

事業イメージ

